

洗礼

そは希望にして信仰に非ず
しかれどもそは哀しき祈りなり
心より捧げたてまつる
我もまた子羊なり
紙の下僕の如く洗礼を施したまへ

キリエ、エレイゾン

「神、死にたまひき」と叫ばれてより
長き夜は来れるなり
しかれども我は祈らん
神に向かひて祈るに非ず
ひと^{ひと}人間に、生ける人間に向かひて祈らん

クリステ、エレイゾン

主もまた人の子なり、我と同じく
「哀れなる無神論者よ」と或人は言へり
我、その哀れみをも拒まず
信ずる者に幸福^{さいわ}いあれ
我、信ぜざるが故に祈らん

キリエ、エレイゾン

いざ、我に洗礼を施したまへ
神の下僕の如く
我もまた、生ける者なり

(1984.10.22)